

保護者・生徒の皆様へ

令和4年1月17日
大阪府立富田林高等学校
校長 栗山 悟

令和3年度学校教育自己診断結果について

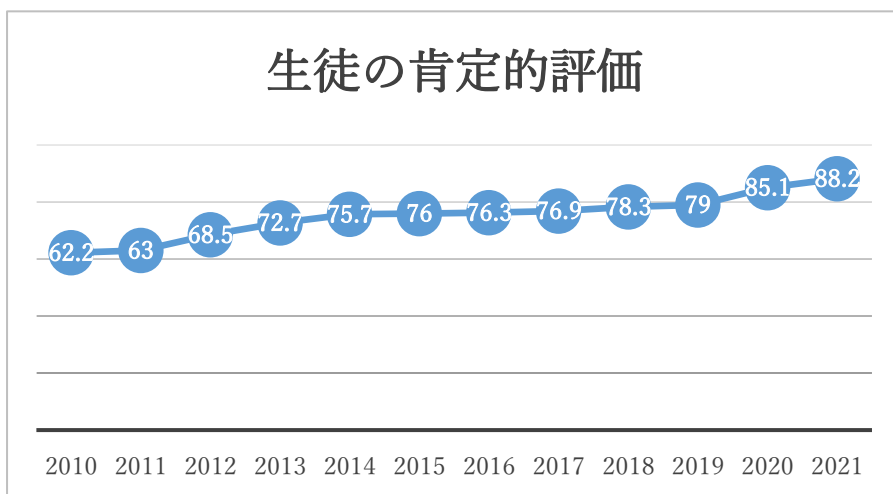
初春の候、保護者の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年に実施いたしました学校教育自己診断の結果が集計できましたので、全校生徒（高校）からの回答を中心に、その内容の一部をご紹介します。自己診断結果の全容につきましては、別添の資料をご参照ください。また、同内容を本校ホームページにも掲載しております。

生徒の皆さんには、自分の学校生活の振り返りなどの際に参考にしてもらえればと思います。

生徒の肯定的評価は12年連続で上昇、グローバルな取組みへの評価は横ばい

右のグラフの通り、生徒の肯定的評価は過去11年間で上昇を続け、今年度は88.2%となりました。質問数や質問内容が一部変わってはいるものの、3年前と比較しても約10ポイント上昇しており、生徒たちは本校の教育活動に対して概ね肯定的に捉えてくれているようです。「富田林高校へ進学してよかった」と回答した生徒は93.8%と、こちらも過去最高となりました。



この2年間はコロナ禍で行事を中心に様々な活動が制限されてしまいましたが、「学校行事に参加するのは楽しい」という項目でも過去最高値（95.0%）を示すなど、生徒たちが今できる範囲で学校生活を満喫してくれている様子が窺えます。一方でコロナ禍に大きく影響を受けた「グローバル教育」への評価は生徒・保護者共に横ばいとなってしまいましたが、「グローバル教育」は本校の教育活動の柱の一つであり、国内研修や今年度も実施したオンラインでの交流に今後も力を入れていくなど、その充実を図って参ります。

授業への肯定的評価も過去5年間で右肩上がり

授業に対する生徒の評価も上昇傾向が続いています。授業を「わかりやすさ」「ICTの活用」「深く考えさせる」という3つの観点から調査した結果、肯定的評価はすべての観点において過去最高値となりました。また1日90分以上家庭学習をしている生徒の割合も73.6%と過去3年間で上昇傾向にあり、生徒たちの努力も窺えます。

「学校は進路についての情報をよく知らせてくれる」という項目でも9割を超える生徒が肯定的に評

価しています。これは進路に関連したホームルームの時間をより多くしたことが影響していると考えられますが、今後も生徒や保護者の皆様のニーズを踏まえ、進路の情報をより多く提供できるよう努めて参ります。

探究への評価は過去4年で大幅増

探究活動に対する生徒からの肯定的評価も84.1%と高い水準にあり、探究について初めてアンケート調査した2017年度と比較すると約25ポイント増と大幅に上昇しています。今年度の「探究I」ではフィリピンやネパールの高校との交流を軸として研究を行う国際コースを新設し、また文系のGEコースでも探究IIを必修とする等、本校では探究に関する取組みを拡大しています。生徒たちも自身の研究に積極的に取り組んでおり、その成果として大阪府学生科学賞では中学と共に高校も学校賞を受賞しました。こうした一つひとつの取組みが探究への肯定的評価に繋がったものと考えられます。

学校生活に関する項目も上昇傾向

学校の先生との関係に満足している生徒も調査開始以来、初めて9割を超えました。また「困ったことや悩みを相談できる先生がいる」という項目でも76.4%と肯定的評価が初めて7割を超え、教職員との関係にも一定の評価が得られているようです。人権教育やいじめへの対応に関する項目も肯定的評価が9割を超えており、今後も高い評価を維持できるよう、学校全体で努めて参ります。

昨年度より新たに設けられた「学校における活動に主体的に取り組んでいる」という質問項目では2年連続で9割が肯定的に評価するなど、学校生活を充実させるために生徒自身も主体的に活動しようとしている様子が伺えます。

情報発信に対する保護者の評価は高位横ばい

学校からの情報発信について、保護者の皆様からの評価は横ばいとなっています。ホームページやブログ、「さくら連絡網」での発信についての評価は昨年度と同様92%台となっており、今年度から新しくなったホームページも活用しながらより一層情報発信を図っていく所存です。一方で昨年度と比較すると、保護者参観についての評価は54.9%から71.3%、保護者説明会についての評価は86.2%から91.4%と上昇傾向にあり、コロナ禍ではありますが今後も保護者の皆様が学校の取組みにより多く参加していただけるよう努めて参ります。

自由記述においても皆様から様々なご意見を頂きました。個人情報保護の観点などから公表は控えませんが、教職員はもとより、学校運営協議会においても共有化を図り、今後の教育活動の改善に生かして参ります。学校教育自己診断へのご協力、誠にありがとうございました。